

《蒲田駅周辺再編プロジェクト》

蒲田駅周辺地区ランドデザインで示した蒲田駅を中心とする地区整備について、課題解決のための必要な施設整備と実現化に向けた手順、整備の条件などをまとめた総合プロジェクト

【西口駅前広場現状課題】

- 南側円形段差部は、滞留空間機能であり、歩行者動線への影響やイベント活用では不便な形状となっている。
- 北側歩道部は、バス降車場と駅ビル間を歩行者が車道を通して通行している。

【西口駅前空間将来目標】

- オープンスペース確保による歩行者環境の改善と商店街との一体的なにぎわいの創出
- 新空港線事業化を踏まえた交通機能の再配置による公共交通利便性の向上

【初動期整備】

●歩行者環境の改善を重視した整備

①広場南側のフラット化と歩車道の段差解消

- ・円滑に移動できる歩行者動線を確保
- ・円形段差の解消で、広場と駅ビル、商店街の一体感を強調
- ・開放感のある空間を確保し、にぎわい広場として活用

②広場北側歩道部の歩行者動線確保と歩車道の段差解消

- ・バス降車場と駅ビル間を円滑に移動できる歩行者動線を確保

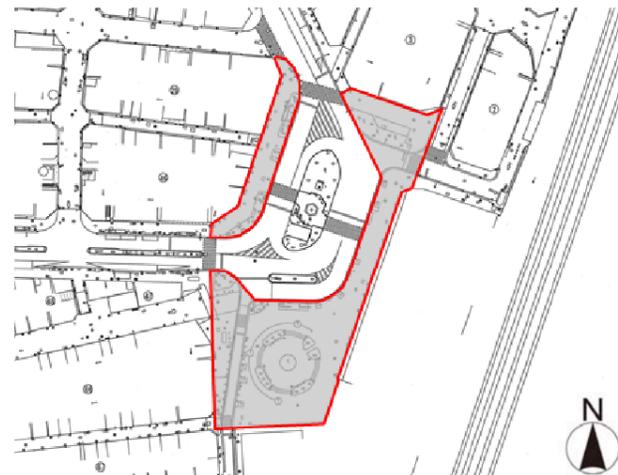
【西口駅前広場検討部会での検討事項】

上記初動期整備を進めるにあたって、下記項目について「蒲田駅西口駅前広場整備デザイン基本計画」として整理する。

- 1) まちづくりの方向性  
※右側参照
- 2) デザイン検討の考え方
- 3) デザイン・コンセプトの方向性
- 4) 駅前広場機能に必要な設備
- 5) 駅前広場デザインの基本的な方向性  
舗装、植栽、照明、付属施設、その他

※2)～4) P.5 参照

【検討エリア】



1) まちづくりの方向性（蒲田都市づくり推進会議での整理）

《デザイン検討におけるまちづくりテーマ》

「駅とまちなにぎわいを紡ぐ、人と環境にやさしい駅前広場」

【スペース別 環境形成の方向性】



# 検討事項の蒲田都市づくり推進会議での整理

## 2) デザイン検討の考え方

### ○魅力を感じるまちのにぎわい

- ・にぎわいが連続する歩行者空間
- ・駅周辺への回遊の起点となる空間
- ・清潔で快適な駅前環境

### ○歩きやすく、利用しやすい

- ・安全、円滑に移動できる歩行者環境
- ・利用しやすい交通施設へのアクセス動線
- ・来街者にわかりやすい案内表示

### ○ゆとりやうるおいを感じる

- ・快適に過ごせる滞留空間
- ・うるおい、憩い、癒しの植栽

### ○環境にやさしい

- ・省エネルギー
- ・ヒートアイランド緩和

### ○まちの防災力を高める

- ・災害、交通情報などの提供
- ・安全なスペースと防災設備

## 3) デザイン・コンセプトの方向性

### ○舗装部全体イメージ

- ・開放感・一体感を重視したデザイン
- ・スペース毎の特徴や機能を表現したデザイン

### ○趣

- ・歴史を重視したデザイン
- ・先進性を重視したデザイン

### ○色調

- ・明るさを基調としたデザイン
- ・落ち着きを基調としたデザイン

### ○緑化

- ・歩行者を誘導する配置
- ・憩い空間を創出する樹種

## 4) 駅前広場機能に必要な設備

### ○駅とまちをつなぐ機能

- ・シェルター
- ・案内板 (サイン)
- ・点字ブロック



### ○災害・緊急時に備える機能

- ・案内板などのサイン
- ・AEDシステム



- ・太陽光LED街路灯



例

### ○にぎわい、憩い創出機能

- ・シンボル
- ・植栽とベンチ



### ○環境に配慮した機能

- ・太陽光発電パネル
- ・ドライミスト
- ・風力発電
- ・緑化



### 【開放感・一体感を重視したデザイン】

- ・駅前広場に面する歩道の舗装デザインを統一し、一体感を表現

- ・駅周辺の多様な色彩に配慮した落ち着きのある色を採用



### 【スペース毎の特徴や機能を表現したデザイン】

- ・人が集まるスペースや行き交うスペース毎に特徴あるデザイン

- ・出会いや交流などのにぎわいを表現し、誘導ブロックの輝度比に配慮した明るめの暖色を採用

